

事業報告書様式

- 1 様式1  
(施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2  
(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3  
(有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和6年度公園利用状況)
- 4 様式4  
(令和6年度修繕実績)
- 5 様式5  
(令和6年度増減備品一覧)
- 6 様式6  
(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7  
(利用者アンケート結果)
- 8 様式8  
(研修実施報告)
- 9 様式9  
(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10  
(業務の第三者委託実績)
- 11 様式11  
(収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12  
(運営目標・実績報告)

## (事業報告書様式1)

## 1 施設概要

公園名	富岡総合公園
所在地	横浜市金沢区富岡東二丁目9
公園面積、公園種別	219,208 m <sup>2</sup> 、総合公園
主な施設	〈北エリア〉北台展望台、ケヤキ広場、庭球場、多目的広場、アーチェリー場 〈南エリア〉ボタン園、梅林、池、桜並木、駐車場、プラタナス広場、草地広場、並木展望台
特徴	かつて日本海軍の基地「横浜海軍航空隊」があり、戦後は米軍に接收され富岡倉庫地区と呼ばれていました。昭和46年に返還され、昭和50年からその一部が国有地の無償貸与を受けて公園として公開されました。公園内には自然樹林が多く、樹林を進むとアーチェリー場があり、このアーチェリー場は公営施設としてはわが国最初のものです。公園中央部の道路沿いには、桜並木が見られ、道路の両脇には横浜海軍航空隊当時の石門が残されています。
公園開園日	1975（昭和50）年3月20日

## 2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜市緑の協会・横浜市アーチェリー協会とみどりの会グループ
代表者名	代表団体 公益財団法人横浜市緑の協会 理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通58番地
指定管理期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成31年4月1日

## 構成団体A

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 橋本 健
所在地	横浜市中区日本大通58番地

## 構成団体B

団体名	一般社団法人 横浜市アーチェリー協会とみどりの会
代表者名	代表理事 大西 敏夫
所在地	横浜市金沢区富岡東2丁目9番2号

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制（事業計画書様式2）の報告

1 本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）および、運営業務の実施結果

ミッション1 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実

- ・園内の様々な植物や生き物に配慮した管理を行い、利用者が心安らげる緑豊かな公園を目指しました。また、緑豊かな環境を活かし、公園ウォーキングツアーや夏休み昆虫観察会などを実施し、自然とふれあえる機会を提供しました。
- ・花や緑と触れ合う機会を創出するため、市民と協働した花壇作りを行うことで「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成に結びました。

ミッション2 アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現

- ・アーチェリー場の安全・安心・快適な競技環境を提供しました。
- ・アーチェリーステップアップスクールやパークヨガなど、健康づくりに関する各種教室を開催し、競技人口の裾野の拡大や公園利用者の皆様の健康増進を図りました。

ミッション3 公園でつながる、ひろがる、地域の輪

- ・富岡総合公園感謝 DAY を市民の皆様や近隣施設などと連携して実施し、地域交流や魅力向上、結束力強化による防災力の向上に寄与しました。
- ・今年度は開園 50 周年を記念して、地域・団体の皆様によるステージイベント「とみそうステージ」を実施しました。
- ・隣接する金沢支援学校に学習や体験の場として公園を活用いただき、職場体験の受け入れや花壇作りなどを協働で実施しました。

2 管理運営体制、人員の配置と研修結果

- ・管理運営体制、勤務体制、人員体制・職能等については、計画の通り配置
- ・研修は、様式8のとおり実施

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

1 利用者サービスの向上・利用促進策

(1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実

- ・「GREEN×EXPO 2027」応援花壇や市民協働花壇では、近隣保育園や支援学校、ボランティアの皆様に参加いただき、花や緑と触れ合う機会を創出しました。
- ・公園ウォーキングツアーや夏休み昆虫観察会などを通じ、命の大切さや生き物のつながりを学ぶ機会を創出し、自然への興味喚起を行いました。

(2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現

- ・アーチェリー場では、体験教室やステップアップスクールを実施し、競技人口の拡大及び普及につなげました。弓具・競技機材の貸出しサービスや雨天・熱中症対策のための簡易テントの設置など、快適な利用環境を提供しました。
- ・オープンスペースを活用したヨガ体験や、園内に自生する植物や山野草のオリジナルマップを配布・掲示により、市民の皆様の健康づくりを推進しました。

(3) その他

- ・愛犬マナー教室や、アーチェリー場における安全管理などを行うことで来園者が安心して過ごせる環境づくりに取り組みました。
- ・野鳥の動画の公開や、アーチェリー体験教室等の WEB 申込など、デジタル技術を活用した市民サービスを展開しました。
- ・季節の見どころやイベント情報の発信の拠点とするため、管理棟を活用しました。

## 2 広報・プロモーションの取組

- ・公園ホームページやブログで、イベント情報や花の見頃などをタイムリーに発信しました。
- ・富総プレスを発行し、イベントや季節の花や生き物についての情報を紹介しました。
- ・アーチェリー場では、競技会の情報や施設の予約状況を発信しました。

## 3 市民協働、市民主体の活動の支援・地域人材育成

### (1) 開園 50 周年を契機とした地域連携の強化

- ・ボランティア、自治会町内会、NPO 法人、近隣施設などと連携し、感謝 DAY や花壇作りを実施し、地域交流の活性化につながりました。
- ・開園 50 周年を記念し、地域・団体の皆様による演奏やダンスの発表の場として公園を活用する「とみそうステージ」を開催しました。

### (2) 『みんなが主役』の公園づくりの取組

- ・近隣の教育機関や市民ボランティア等と連携し、花壇づくり、職場体験等を実施しました。
- ・市民ボランティアと連携し、トンボとり大作戦を実施しました。

### (3) 地域防災力向上のための取組

- ・周辺地域の自治会・町内会が主催する防災訓練に協力しました。
- ・保育園や消防署と連携し、津波避難訓練を実施しました。
- ・金沢消防署、金沢消防団と連携し、AED の扱い方等を学ぶ災害体験を実施しました。

## 4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

### (1) 高齢者のウェルビーイングの推進・交流促進の取組

- ・ヨガ体験の実施や、園内の自生植物や山野草を楽しめるオリジナルマップの配布・掲示を通じて、心身のリフレッシュや健康増進を図りました。
- ・アーチェリー場では、初心者や長期ブランクの経験者向けの教室を開講しました。

### (2) 地域交流の活性化

- ・市民ボランティアや自治会町内会、近隣施設などと連携し公園感謝 DAY を開催しました。
- ・50 周年記念イベントで、地域の皆様による「とみそうステージ」を開催しました。
- ・金沢支援学校と連携し、花壇づくりによる美化活動、職場体験の受け入れを通じて、社会参加の機会を創出しました。

### (3) 臨海エリアの貴重な緑の保全と地域防災力向上に向けた取組

- ・効果的・効率的な人材育成のため、樹木・植栽管理など知識・技術向上に向けた研修を年 3 回以上受講しました。
- ・草刈り頻度や刈高の調整など、地域の生物多様性保全に貢献する維持管理に取り組みました。

### (4) 地域経済活性化への取組

- ・公園感謝 DAY や各自主事業では、地域人材を活用し、地域に根差した先生や団体に依頼しま

した。

- ・植栽管理業務の一部は官公需適格組合に委託、物品購入等は市内中小企業への優先的発注に努めました。

## 5 災害時の緊急対応

### (1) 災害に備える予防的対策

- ・災害対応マニュアルの整備・共有、職員用防災備蓄の用意、各種訓練を実施しました。
- ・地域連携による訓練などを開催しました。
- ・大雨など警報発表後に特別巡視を実施しました。
- ・海拔表示の設置、災害対応型自動販売機の設置、災害時優先電話の配備、市防災メールへ登録、緊急地震速報自動放送システムの整備を実施しました。

### (2) 災害発生時の対応

- ・初動対応（園内放送による災害情報の提供、地域防災拠点への案内等）、参集対応（職員不在時に発災した場合の参集）、特別巡視（危険箇所の封鎖、利用者の誘導、被害状況の確認）、宿泊者が生じた場合の対応（駐車場やトイレの開放、体調確認の声掛け、災害情報の提供）を速やかに行えるように備えました。

## 6 安全対策・防犯対策

### (1) 安全対策

- ・気象注意報（光化学スモッグ注意報・高温注意情報等）発表時の注意喚起を行いました。
- ・スズメバチの営巣が確認されたため、速やかに巣を撤去しました。
- ・ハザードマップを巡視・点検時に活用しました。職員全員が普通救命講習を受講しました。
- ・AEDの設置と設置場所の掲示をしました。
- ・アーチェリー場利用者に対しては、スタッフが適宜利用指導を行い、施設の安全に配慮しました。万一に備え、各種保険に加入しました。
- ・アーチェリー場では、安全性に配慮し、同一射線から行射できるよう、移動式標的（ターゲット）の製作・設置をしました。

### (2) 防犯対策

- ・園内の死角を日常巡視で重点的な確認や、不審者などに留意した巡視を実施しました。
- ・年中無休のコールセンター、緊急連絡先などを記載したセキュリティボード、「子ども110番の家」看板を設置しました。
- ・アーチェリー場はセコムの防犯システムによる夜間警備を実施しました。

### (3) 維持管理作業での対応

- ・複数名による作業の実施や、墜落制止器具、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備の着用、作業機器取扱者は安全衛生教育を受講するなど、作業の安全確保に努めました。
- ・草刈作業は特に注意の必要な箇所について小石の飛散防止シートなどで養生するなどの安全対策をしながら作業を実施しました。
- ・車両での園内走行時は、ハザードランプ点灯と徐行しました。

### (4) 熱中症対策

- ・利用者への取組として、熱中症予防行動の周知、脱水症状チェック表の貼り出し、セキュリ

ティポスの設置、木陰の創出を実施しました。

- ・スタッフへの取組として、健康状態の確認や作業工程の工夫などを実施しました。
- ・設備への対策として、熱交換塗料の塗布、クールスポットの創出、屋外テーブルベンチの設置、自動販売機の設置などを実施しました。

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

- ・サイクリングロード（自転車走行が可能な園路）のサインの文字が視認しづらくなっていたため更新しました。
- ・近隣住宅からの公園の越境枝に関する要望に対し、剪定を実施しました。
- ・園内でスズメバチの営巣が確認されたので、立ち入り禁止措置を講じ、巣を撤去しました。
- ・花見時期はサクラ並木に駐車禁止ののぼり旗を設置し、迷惑駐車に対する注意喚起を行いました。

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

- ・「横浜市SDGs未来都市計画」を踏まえ、歴史ある桜並木の保全と再生、ボタン園の適切な維持管理、「GREEN×EXPO 2027」応援花壇の設置などを実施しました。
- ・アーチェリー体験教室の開催により競技人口の拡大に努めました。
- ・市民協働による賑わいイベントや花壇作り、ボランティアの活躍する場を提供しました。
- ・「横浜市温暖化対策実行計画」などの実現に向けた取組として、再エネ100%電力の導入や落ち葉の腐葉土化によるリサイクルなどを実施しました。

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

(1) 個人情報保護・情報公開

- ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理しました。
- ・全スタッフや事業協力者を対象に個人情報保護研修を実施しました。
- ・全スタッフが人権啓発研修を受講しました。

(2) 人権尊重・障害者差別解消

- ・人権啓発研修（障害者差別解消も取り扱う）を実施しました。
- ・アーチェリー場中央に車いす利用者などが容易に競技・利用しやすい舗装通路を設置・活用しました。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

1 公園の維持管理の基本方針

生物多様性に配慮した管理を行うとともに、身近な自然とふれあえる機会を提供しました。また、歴史ある桜並木、区の花ボタンをはじめ、地域の草花を適切に保全しました。

アーチェリー場においては、安全・安心かつ快適な競技環境を提供することで、施設の利用促進とスポーツ振興に貢献しました。

2 公園施設・設備の維持管理

(1) 樹林地

- ・保護樹林区は、立ち入りや人為的な影響を必要最小限にとどめた管理を実施しました。
- ・あじさい坂のアジサイは、花つきを良くするための剪定手法を手作業で実施しました。

(2) 草地広場

- ・草刈りは利用に快適な草丈3～5センチを基準に実施しました。
- ・傾斜部分は土砂流出防止のため10センチ程度に維持しました。

(3) 池・流れ

- ・池内は在来種保護のため、外来種と在来種の生息区域を分けて管理しました。
- ・トンボやゲンジボタルの生息状況を調査しました。

(4) アーチェリー場

ア 日常整備

- ・常に利用者目線での管理運営を実施し、チェック項目や作業手順を具体化した管理マニュアルに基づき管理を実施しました。
- ・的紙や的用畳等の状態が悪いものについては、速やかに交換しました。
- ・修繕記録、事故発生記録等を整備し、活用しました。

イ 定期整備

- ・月1日を定休メンテナンス日とし、グリーンの整備（芝刈り）、常設備品のメンテナンス（的用畳・的紙交換）、周辺の除草、射線の整備等を実施し、行射品質を維持しました。

ウ 美観の向上

- ・エントランスやシェルターに花壇やプランターを設置しました。

エ 競技団体との連携

- ・全日本アーチェリー連盟の規定に基づいた行射通路などの整備をしました。

オ その他

- ・競技場に隣接する支障枝等について、事業者で連携して早急な除去等の対応を実施しました。

(5) 点検

- ・市公園施設点検マニュアルに基づく施設点検（年4回）、施設管理者点検（年1回）、対象遊具の精密点検（年1回）、当団体独自の月例点検（月1回）を実施しました。
- ・梅雨、台風、落葉時期の排水機能の確認、台風、降雪時期の枯枝・枯損木の確認など特に留意して実施しました。
- ・園路沿いなどの主要か所について危険木点検（年1回）を実施し、枯枝除去・伐採等を実施しました。

3 公園施設・設備の修繕結果

- ・トイレを含む建築物や遊具などは、定期点検や精密点検を活用し、施設の健全度、劣化状況を把握。把握した内容に基づいて優先度を評価し、予防的修繕など適切な措置を実施することで事故防止や長寿命化に貢献しました。
- ・ベンチ等は日常巡視・点検や定期点検により異常の有無を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施。老朽化したものは適宜新品へ交換しました。

4 樹木・植栽等の管理

(1) サクラ再生プロジェクトの取組

- ・桜並木を中心に、樹木医診断などによる樹勢の経年調査と樹勢回復作業を実施しました。

- ・園内のサクラは樹木ナンバートープで一括管理し、樹種の把握や健康状態などの経過を観察しました。
- ・踏圧防止や細根を育てるため、根株周辺に発生材を使用した落葉のマルチングを施しました。
- ・若い枝を育て、樹勢を回復させるため、軽減剪定などを実施しました。
- ・枯れ枝や越境枝などは適宜撤去し、利用者の安全管理に努めました。

(2) ボタン園

- ・ボタンの維持管理（剪定や芽かき、花がら摘み、有機質肥料の施肥、根元の藁による保護など）を適宜適切に実施しました。日照障害を防ぐため、夏場は日除けを設置しました。新たな土壌改良措置などを含め、維持管理を工夫しながら実施しました。
- ・マツは、みどり摘みやもみあげを適宜実施し、美観を維持しました。

(3) 梅林

- ・実ウメ、花ウメなどウメの種類と樹勢に応じた剪定を実施しました。

(4) 「GREEN×EXPO 2027」応援花壇

- ・宿根草と一年草を組み合わせた自然風の花壇を市民協働で設置しました。

(5) 病害虫の防除

- ・コナラなどの根元を中心にフラスがないかを巡視時に注視し、ナラ枯れの早期発見に向け日頃から確認に努めました。

(6) SDGs 達成に向けた持続可能な公園管理の取組

- ・園内発生材をカントリーヘッジや支柱などに活用し園内の資源循環を推進しました。
- ・地域協働でアメリカザリガニ捕獲活動を実施しました。捕獲したザリガニは肥料の材料として利用しました。
- ・近隣学校施設と花壇づくりを実施しました。
- ・サクラの一部に発生材を使用したマルチングを実施するなどして根本を踏圧から保護しました。
- ・落ち葉を堆肥化し、花壇や樹林の林床、植栽地に還元しました。

(7) 日本庭園を意識した梅林・庭園区の維持管理

- ・季節ごとのパーゴラ装飾（植物素材）を実施しました。

(8) 園内を彩る植栽の適切な維持管理

- ・四季を彩る植物に合わせた剪定や土壌改良等、植物の魅力を高める植栽管理を実施しました。

(9) 近隣地域の安全に配慮した樹木の維持管理

- ・住宅地境界における越境枝、枯れ枝の巡視・点検及び発見時の剪定・清掃等を実施しました。
- ・道路上へ張り出した過高木の枝について、自重で落下する危険性を除去するため、広範囲の剪定を予防的に実施しました。
- ・隣地境界線の調査を行い、公園と宅地の境界を明確にしたうえで、維持管理区域側の除草、剪定を行いました。



## 5 巡視・清掃

## (1) 巡視

- ・日常巡視は1日2回実施しました。斜面地など危険箇所は特に注意を払い巡視し、異常発生時は速やかに市へ報告、安全対策を実施しました。
- ・花見時期はトイレや桜並木沿いを重点的に行き、違法駐車等には声掛けや警察との連携に努めました。
- ・気象警報解除後や他園での重大事故発生時に、特別巡視を実施しました。

## (2) 清掃

- ・ベンチ・テーブルの清掃や園路のごみ拾い、汚れに注意して掃き掃除などを実施しました。降雨後や落葉時期は滑りやすいため重点的に実施しました。
- ・梅雨前や落葉時期の降雨後を中心に、側溝の泥上げ清掃を実施しました。
- ・トイレは毎日1回を基本とし、利用状況に応じて随時実施しました。チェックシートを掲示し、利用者に清掃状況を周知しました。必要に応じて排水管清掃や高圧洗浄などの特別清掃を実施しました。
- ・池・流れは、美観と生態系に配慮してゴミや危険物は速やかに除去しました。

## (事業報告書様式3)

## 1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績

## アーチェリー場

月	利用回数(回)	利用人数(人)	稼働率(%)	利用料金(円)
4月	—	705	—	294,500
5月	—	791	—	333,000
6月	—	541	—	379,000
7月	—	675	—	328,300
8月	—	1,396	—	492,400
9月	—	596	—	357,500
10月	—	724	—	455,400
11月	—	516	—	287,900
12月	—	325	—	168,000
1月	—	120	—	60,900
2月	—	428	—	224,900
3月	—	369	—	309,100
合計	—	7,186	—	3,690,900

※照明、その他設備(ロッカー、シャワーなど)の料金も含む

## 2 令和6年度公園利用状況

該当なし

(事業報告書様式4)

令和6年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕月日	修繕箇所	金額(円)	委託業者名 または直営かの記載
4.24	乗用草刈り機、モア補強 (仮対策)	0	直営
5.11	防矢ネット新旧隙間侵入防止版設置	0	直営
5.14	アーチェリー場看板設置取り付け	0	直営
5.16	あじさい坂手摺仮復旧	消耗品費で計上	直営
5.27	センター通路 競技用ライン設置 (白線)	4,157	直営
6.4	乗用草刈り機、モア溶接、駆動ボルト、ブレード交換修繕	142,296	(株)シンコー
6.5	シューティングレーン用ライン(白線塗装)	1,322	直営
6.6	管理センター 蛇腹式閉門補修	0	直営
6.11	放送設備スピーカー修繕	165,000	エービーサービス(株)
6.11	アーチェリー場放送設備スピーカー修繕	199,100	エービーサービス(株)
6.25	草地トイレ 男子サインプレート取り付け	消耗品費で計上	直営
7.4	管理センター 洗濯機の蓋修繕	0	直営
7.7	管理センター 外洗い場の水道蛇口先端交換	0	直営
7.8	管理センター 屋上電源ケーブル BOX 修繕	消耗品費で計上	直営
7.20	アーチェリー場前 タイル敷き園路へコミ補修	0	直営
7.31	レンガ広場ベンチ背もたれ板1枚交換	0	直営
8.19	つつじ坂、倒木により手摺破損、1本交換	0	直営
8.30	管理センター事務室蛍光灯をLED化9か所	199,100	(株)妙光電気
9.1	乗用草刈り機 ローラー2か所交換Vベルト交換	0	直営
9.24 他	フライングモア修繕	0	直営
10.10	シャワーカーテン2枚(男性用)購入	2,398	直営
11.23 他	ケヤキ広場・北大広場・見晴らし台 ベンチ板5枚交換	0	直営
12.4	多目的トイレ(草地、プラタナス)オストメイト水漏れ、詰まり修繕	66,000	三ツ矢設備工業(株)
12.6	サイクリングロードのサイン方向板の修繕	消耗品費で計上	直営
12.8	防矢古畳試作品購入・テスト	34,650	辻幸畳店
12.16 他	防矢畳の交換	22,978	直営
1.16	桜並木 ロープ柵付け替え	0	直営
1.22	多目的広場 フェンス修繕	165,000	(株)りょうこう
1.22	テニスコート女子トイレフラッシュバルブ修繕	52,800	三ツ矢設備工業(株)
2.4	移動式標的(ターゲット)製作	4,141	直営

2.7	ターザンロープ修繕	107,910	(株)コトブキ
2.20	乗用草刈り機 メンテナンス修理	133,573	(株)シンコー
2.20	チェーンソーオイル漏れ修理	35,189	(株)シンコー
2.20	刈払い機不安定修理	26,939	(株)シンコー
2.22	管理センター2階トイレ紙ホルダー交換	0	直営
3.3 他	移動式標的（ターゲット）製作 ボルト・ナット類	3,638	直営
3.24	スピーカー修繕	157,300	エーブイサービス(株)
計		1,523,491	

## (事業報告書様式5)

令和6年度増減備品一覧（※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入）

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	月日	数量	月日	
バキュームスーパー	TOKO S-5000				1	6.8	老朽化
草刈機（ロータリーモア）	バ ロ ネ ス GM50EF 手押し				1	6.8	老朽化

## (事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	月日	内容	対応結果
1	6.21	団体での自転車通行に危険を感じたが、許可を出しているのか。	当該園路はサイクリングロードのため、通行可能と回答
2	6.25	園内の樹木が高木となり、TVが映らない。	電波障害を理由とした伐採はできないと回答。越境部分は剪定終了
3	9.5	アスレチック広場にスズメバチがいる。	注意喚起を行い、スズメバチを駆除

## 事件・事故・災害対応報告

	月日	内容及び被害	対応結果
1	4.10	浜空上広場園路脇にて倒木を発見	4/12 撤去完了、立入禁止措置解除
2	4.21	あじさい坂付近で漏水音が聞こえる。	配管の漏水は確認できず、経過観察を継続
3	5.9	倒木の撤去作業中、手すりを破損	5/10 倒木を撤去、5/16 手すりを復旧
4	6.4	公園外周公道で倒木が発生	土木事務所へ連絡、後日撤去を確認
5	6.16	草地広場の男子トイレでサインプレートの落下を発見	警察に通報。今後巡視を強化することとし、サインプレートの修繕は完了
6	7.16	機動隊前斜面地にて倒木発生	倒木及び隣接した樹木の撤去完了
7	7.18	見晴台にてクヌギ、シロダモの幹折れ	伐採して処分完了

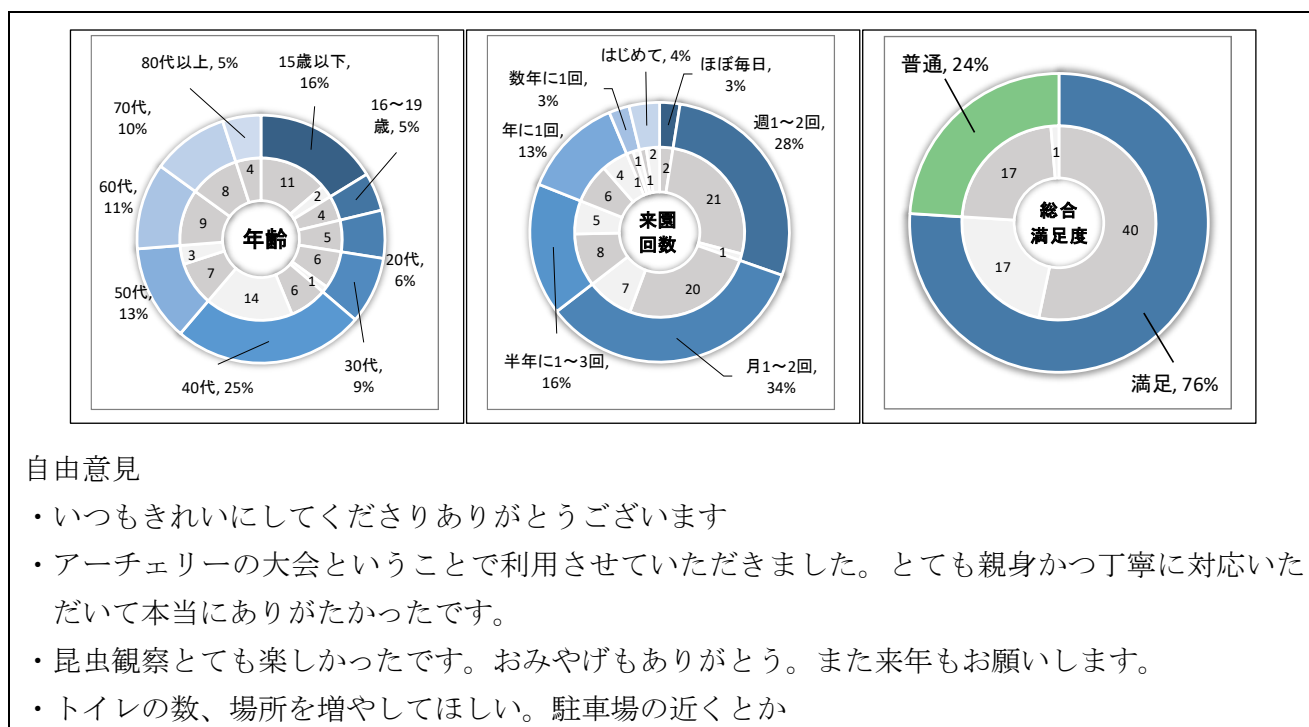
8	8.17	つつじ坂で倒木があり、手すりが破損	手すりを予備品に交換し作業終了
9	9.13	つつじ坂園路沿いの樹林地から異臭がするとの連絡	遺体を発見し、警察に通報。鑑識捜査後遺体を搬出して対応終了
10	12.12	クヌギの倒木とフェンスの破損を確認	倒木した樹木を撤去、フェンスは修繕完了
11	1.2	桜並木歩道で自転車のバッテリーが燃え、近隣住民が消火	年末年始休みのため、対応できず。後日南部公園緑地事務所から連絡を受け、該当箇所を清掃
12	1.4	見晴らし台に設置していたコーンバー等の破損を発見	警察に通報。再度設置し、対応完了
13	1.22	竹林傾斜地にて職員が転倒し、肋骨を骨折	病院受診済

(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

実施期間：7月27日～10月6日

回答者：80人（平常時60人、イベント日20人）



(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	毎月	情報セキュリティ・個人情報保護月次研修	8	インターネットの安全な利用、個人情報の適正な取り扱い等を学習
2	毎月	安全衛生委員会	2	労働者の危険又は健康被害を防止するための基本となるべき対策などの調査審議を実施

3	4. 8	刈払機取扱講習	1	刈払機取扱作業安全衛生教育の講習を受講
4	4. 16 他	個人情報保護研修	17	個人情報の取得・利用、保管・管理、提供・開示などの取扱いに関する基本的な事項を学習
5	4. 16 他	採用時研修	2	公園管理の業務に当たっての基本的な事項（接遇、事件事故、個人情報保護、維持管理作業）を学習
6	4. 19	安全管理研修	1	刈払機の基本的な操作を学習
7	5. 17	第1回公園施設点検研修（遊具）	1	遊具の点検マニュアルに基づく点検方法について学習
8	5. 17	第1回公園施設点検研修	1	遊具施設の点検方法について点検マニュアルの確認及び実技を交えて学習
9	5. 27	ホームページ研修	1	ホームページのシステム概要や記事の作成方法、ウェブアクセシビリティについて学習
10	5. 30	第2回公園施設点検研修（樹木）	1	樹木の健康や病気の状態について学習
11	6. 17	公園樹木点検研修	2	マニュアルにおける樹木点検や樹木点検・診断について学習
12	6. 19 他	伐木等業務講習	1	伐木等業務講習を受講
13	6. 21	第2回樹木・植栽研修	1	刈込みの種類や植物によるトリマーの取扱い方について学習
14	7. 4	第3回樹木・植栽研修	1	アベリア、ユキヤナギ、アジサイの剪定方法について学習
15	7. 11	R5 決算報告	1	令和5年度の決算状況を学習
16	8. 1 他	CS・接遇研修	7	カスタマーハラスメントの定義、対応の考え方などを学習
17	8. 1 他	個人情報・コンプライアンス研修	7	サイバー攻撃に対する考え方などを学習
18	8. 1 他	人権研修	7	ハラスメントの考え方や会社の責任を学習
19	9. 11	メンタルヘルス研修	1	メンタルヘルスに対する基本的な知識と対応方法を学習
20	9. 11	ハラスメント研修	1	ハラスメントの起きない良い職場の考え方やコミュニケーション方法を学習
21	10. 29	普通救命講習	1	心肺蘇生法やAEDの使用方法等を学習
22	10. 30	これからの横浜の緑の展開	1	緑を中心とした環境問題、国際園芸博覧会の概要、公園管理のあり方の講習
23	10. 31	パークマネジメント研修	1	令和5年度の予算と決算の状況、収入の増加要因、支出の減少要因、予決の差異要因を学習
24	11. 25	施設長研修	1	派遣講師による部下育成、リスクマネジメントを研修
25	11. 28 他	締固用機械講習	1	締固用機械（ローラー）の使用、点検整備等の講習を受講
26	12. 6	広聴研修	1	顧客満足、顧客満足を高めるメール、伝わりやすい文書のポイント、クレーム対応等を学習
27	2. 8	第4回樹木・植栽研修	4	フジの基本的な剪定方法について学習

## (事業報告書様式9)

## 無料事業実施報告一覧(自主事業含む)

	事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
(1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実				
1	「GREEN×EXPO 2027」応援花壇の設置	近隣の保育園やボランティアと協働で花壇を設置。花苗は市内の生産農家から調達。植え方をレクチャーするなど、作り手との交流も図る	51	6.9 他
2	市民協働花壇の設置	近隣の保育園や地域の支援学校と連携	115	6.11 他
3	樹名板の設置	樹名板の製作や交換の実施。作業の一部を地域の支援学校とともに実施	—	—
4	おもてなし花壇の設置	管理棟の入口に花壇を設置し、季節の花を植栽	—	6.12 他
5	樹木マップ、ボタン園マップの設置	園内の発生材を活用し、樹木やボタンの種類を案内するマップを作成、設置	—	—
6	季節の装飾	季節に合わせた装飾の実施	—	6.28～7.8
7	ネイチャーゲーム	園内の自然を活用し、子どもも大人も楽しめる自然遊びのプログラムを開催	3	3.22
8	野鳥の動画公開	公園に訪れる珍しい冬鳥の動画を配信	—	4月～
9	カブトムシの観察コーナー	園内で採集したカブトムシを管理棟入口に展示	—	8.2～8
10	落ち葉プール	園内の落ち葉を集め、子ども達が五感を使って自由に遊ぶイベントを開催	約 240	11.30 12.2
11	トンボとり大作戦	トンボの生態調査を目的に、園内にいるトンボの種類や移動距離を調べる	101	6.8 他
12	生き物ハンドブックの配布	昆虫や野鳥など、園内で観察できる生き物を紹介する冊子を作成し、配布	—	通年
13	生き物さがしワークシートの配布	園内に生息する生き物についてのワークシートをホームページで配布	—	通年
14	ゲンジボタルの生態調査	ゲンジボタルの生態について調査を実施	3	6.4
(2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現				
15	貸切利用の推進	競技会での広報や、ホームページ、SNS 等で施設情報を発信	—	随時
16	年間行事予定表の配布	年間の競技会や施設の貸切状況を、場内掲示およびホームページ、SNS で発信	—	通年
17	簡易テントの設置	競技会や講座開講時の雨天の退避場所や、炎天下における安全確保のため、簡易テントを設置	—	随時
18	自生植物めぐり、山野草めぐりの配布・掲示	園内に自生する植物や山野草のオリジナルマップを配布・掲示	—	—

■マナー向上・啓発、その他サービス向上の取組				
19	遊具の使い方教室	子どもたちに遊具の正しい使い方をレクチャー	6	8.28
20	海拔表示の設置と活用	津波発生時の指標となる海拔表示を園内に設置	—	通年
21	セキュリティポスト	園内の名称、連絡先等を記した案内サインを設置	—	通年
■市民協働の取組				
22	50周年記念イベント 「とみそうステージ」	地域の皆様によるダンスパフォーマンスや演奏などのステージイベントを公園感謝DAYで実施	60	11.30
23	合同防災訓練への協力	金沢消防署と金沢消防団の合同訓練に協力 ※消防署都合で中止	—	中止
24	自治会の防災訓練への協力	周辺地域の自治会・町内会が主催の防災訓練に協力	80	11.24
25	津波避難訓練	津波発生に備え、高台まで避難するルートを実際に歩いて確認	115	11.8
26	災害体験	消火器やAEDの扱い方、煙ハウス体験などを通じ、日頃からの防災意識を啓発	10	8.15
■地域交流の活性化				
27	県立金沢支援学校等近隣 教育機関やボランティア との連携	花壇づくりや職場体験などを実施	41	6.11 11.12
■管理棟の有効活用に向けた取組				
28	コンポストの設置	園内作業で発生した落葉や剪定枝を堆肥化	—	6.15

## 有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

	事業名	事業内容・実施結果	参加 人数	実施 日	自主事業決算額（円）	
					総経費	収入
(1) 豊かな緑の保全と、自然とふれあえる機会の充実						
1	夏休み昆虫観察会	子どもを対象に昆虫についての解説を行う観察会を開催	20	7. 27	0	2, 400
2	工 作 ワ ー ク ショップ	園内の植物や発生材を活用したワークショップを開催	205	11. 30	4, 180	20, 500
3	収穫物や間伐材 の販売	園内の収穫物や間伐材を販売	—	4 ～ 3 月	0	62, 400
4	公園ウォーキン グツアー	園内の見ごろの植物や生物、歴史遺構などをガイド	25	4. 20 他	10, 000	3, 000
5	星空観察と秋の 生き物さがし	中秋の名月や星空、秋の虫を観察するツアー※雨天中止	—	中止	—	—
(2) アーチェリーや健康づくりによるウェルビーイングの実現						

6	アーチェリー ステップアップ スクール	初心者、長期ブランクの経験者、レベルアップ希望者が対象の教室を専門のコーチを配属し開講	5	3月	11,620	50,000
7	アーチェリー体験教室	アーチェリー初心者向けの体験教室を開講	240	4～3月	189,393	336,000
8	市民スポーツ教室	体験教室受講者を対象とした、短期間で基礎を学ぶ教室	4	7月、8月	20,016	36,000
9	ジュニア強化事業	市内・県内の高校生を対象に、選手育成を実施	487	7月、8月	284,000	243,500
10	横浜市民体育大会	シニア、成人、学生、障がい者などが参加する大会を実施。(横浜市後援、横浜市スポーツ協会協賛)	284	5.3他	288,718	600,724
11	弓具・競技機材の貸出しサービス	弓具やアーチェリータイマーなどの競技機材を貸出し	138	4～3月	88,537	164,100
12	ロッカーの貸出し	ロッカーを設置し、利用者の弓具等を預かるサービスを実施	12台	通年	0	120,000
13	パークヨガ	プラタナス広場や草地広場などでヨガ体験を実施	8	7.6 10.26	20,000	20,000
■マナー向上・啓発、その他サービス向上の取組						
14	愛犬マナー教室	しつけや悩み相談等を実施	4	12.14	3,000	—
■市民協働の取組・市民主体の活動の支援、地域人材育成						
15	富岡総合公園感謝DAY	地域団体と連携しスポーツや防災などに関する様々な催しを実施	約700	11.30	148,911	—
16	梅もぎ体験	近隣の保育園児に梅もぎ体験を提供	約100	5.29	0	2,000
合計					1,068,375	1,660,624



(事業報告書様式 10)

## 業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数 (回)	実施月
便所清掃	便所清掃	(特非)横浜市精連	5,057,780	随時	随時
園地等維持管理	高所作業等園地管理	横浜市グリーン事業協同組合	9,057,474	随時	随時
ボタン園維持管理	ボタン園の維持管理				
樹木診断・技術指導・樹勢回復治療	樹木医による樹木診断等	(特非)自然への奉仕者・樹木医協力会	2,063,314	4回	10月 他
遊具精密点検	遊具の精密点検	タカオ(株)	82,500	1回	2月
夜間緊急対応	夜間緊急対応	京浜警備保障(株)	25,476	随時	通年
水生生物調査	池周辺の環境改善調査	(特非)よこはま里山研究所	268,510	5回	6月 他
消防設備点検	法令に基づく定期点検 ①機器点検②総合点検	(有)消防設備サービス	11,000	2回	8月 2月
園内灯設備保守点検	園内灯設備保守点検 ①巡視点検②部品交換	光洋電設(株)	163,790	1回	4月
放送設備保守点検	放送設備保守点検	エーブイサービス(株)	201,300	1回	12月
スズメバチ防除	スズメバチの巢除去	該当業務なし	—	—	—
一般廃棄物収集・運搬・処分	一般廃棄物収集・運搬・処分	(株)ホンマ	119,196	4	通年
産業廃棄物収集・運搬・処分	産業廃棄物収集・運搬・処分	(株)滝田商会	89,298	随時	通年
路上駐車対策警備	花見特別警備	該当業務なし	—	—	—
イベント会場設営・運営	富岡総合公園感謝 DAY の会場設営・運営	(株)金沢臨海サービス	149,600	1	11.30
夜間機械警備	アーチェリー場詰所の夜間機械警備	(株)セコム	170,280	12	通年
ネイチャーゲーム	園内の自然を活用した子どもも大人も楽しめる自然遊びのプログラムを開催	神奈川県シェアリングネイチャー協会	10,000	1	3.22

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	54,733,370	-109,677	54,623,693	54,623,693	0	アーチェリー場工事に伴う変更 ▲109,677円
利用料金収入	4,492,000	0	4,492,000	3,690,900	801,100	
自主事業収入	1,590,000	0	1,590,000	1,660,624	-70,624	
横浜市による運営支援	1,619,351	421,000	2,040,351	2,040,351	0	横浜市による賃金水準変動対応に伴う指定管理施設運営支援 421,000円
横浜市負担金	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	518	-518	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計 (a)	62,434,721	311,323	62,746,044	62,016,086	729,958	
支出の部						
人件費	29,144,000	0	29,144,000	26,460,135	2,683,865	
給与・賃金	23,966,000	0	23,966,000	22,656,081	1,309,919	
社会保険料	2,548,000	0	2,548,000	1,752,669	795,331	
通勤手当	2,562,000	0	2,562,000	2,001,790	560,210	
福利厚生費	68,000	0	68,000	49,595	18,405	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	3,269,351	0	3,269,351	4,535,410	-1,266,059	
旅費	48,000	0	48,000	45,426	2,574	
消耗品費	1,302,351	0	1,302,351	1,459,122	-156,771	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	30,000	0	30,000	0	30,000	
通信運搬費	188,000	0	188,000	525,883	-337,883	
使用料及び賃借料	52,000	0	52,000	81,696	-29,696	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	30,216	-30,216	
(その他)	52,000	0	52,000	51,480	520	
備品購入費	30,000	0	30,000	0	30,000	
保険料	386,000	0	386,000	318,272	67,728	
振込手数料	48,000	0	48,000	145,000	-97,000	
リース料	724,000	0	724,000	1,567,761	-843,761	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	461,000	0	461,000	392,250	68,750	
自主事業費	938,000	0	938,000	1,173,375	-235,375	
管理費	23,799,335	0	23,799,335	22,108,518	1,690,817	
光熱水費合計	2,027,000	0	2,027,000	2,236,214	-209,214	
光熱水費 (電気)	1,120,000	0	1,120,000	1,404,917	-284,917	
光熱水費 (ガス)	55,000	0	55,000	42,182	12,818	
光熱水費 (水道)	625,000	0	625,000	628,378	-3,378	
光熱水費 (下水道)	227,000	0	227,000	160,737	66,263	
清掃費	5,221,000	0	5,221,000	5,057,780	163,220	
修繕費	1,700,000	0	1,700,000	1,523,491	176,509	
機械警備費	264,000	0	264,000	170,280	93,720	
公園及び公園施設設備保全費	14,587,335	0	14,587,335	13,120,753	1,466,582	
施設 (建物) ・設備保守	329,000	0	329,000	361,970	-32,970	
園地管理費	13,164,335	0	13,164,335	11,902,543	1,261,792	
その他保全費	1,094,000	0	1,094,000	856,240	237,760	
公租公課	2,215,000	0	2,215,000	2,524,101	-309,101	
公租公課 (事業所税)	250,000	0	250,000	74,578	175,422	
公租公課 (消費税)	1,711,000	0	1,711,000	2,006,823	-295,823	
その他公租公課	254,000	0	254,000	442,700	-188,700	
事務経費 (本部分)	2,316,000	0	2,316,000	2,316,000	0	
雑費	753,035	0	753,035	1,963,561	-1,210,526	
支出合計 (b)	62,434,721	0	62,434,721	61,081,100	1,353,621	
差引 (a-b)	0	311,323	311,323	934,986	-623,663	
(参考) 指定管理事業外の収支						
設置管理許可収入合計 (c)	6,384,300	0	6,384,300	6,166,778	217,522	
設置管理許可支出合計 (d)	9,265,000	0	9,265,000	7,441,802	1,823,198	
差引 (c-d)	-2,880,700	0	-2,880,700	-1,275,024	-1,605,676	

今年度の収支報告

- ・自主事業収入 1,661 千円
- ・その他事務費 前年度予算から 261 千円減 (392 千円)
- ・その他保全費 前年度予算から 963 千円減 (856 千円)

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営 1 (事業計画書様式 2：運営業務の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施 1 回</li> <li>・満足度結果 80%に上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度アンケート実施 1 回</li> <li>・総合満足度 76%</li> </ul>	○	アンケート結果をふまえ、快適に公園を利用できる環境づくりやイベント内容の充実に今後とも取り組む。
業務運営 2 (事業計画書様式 2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した人員の配置</li> <li>・研修・講習の実施</li> <li>利用者対応・サービスに関する研修 4 件以上</li> <li>園地管理作業に関する研修 4 件以上</li> <li>マネジメントに関する研修 6 件以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり配置</li> <li>・研修・講習の実施</li> <li>・利用者対応等 10 件</li> <li>・園地管理 12 件</li> <li>・マネジメントに関する研修 5 件</li> </ul>	◎	来年度も引き続き研修計画に基づき研修を計画的に実施する。
業務運営 3 (事業計画書様式 3：利用者サービスの向上・利用促進策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年 12 回定例会の実施</li> <li>・季節装飾 3 回</li> <li>・自主事業提案 43 件</li> <li>・新規事業 12 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会 12 回実施</li> <li>・提案自主事業 41 件(季節の装飾 1 件)うち新規自主事業 12 件</li> </ul>	○	ほぼ天候にも恵まれ、事業を実施できた。実施時期や内容については、参加者の意見をふまえつつ、より魅力的な事業の展開を進めていく。
業務運営 4 (事業計画書様式 3：広報・プロモーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログの更新 48 回</li> <li>・富総 PRESS の発行 4 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログ更新 73 回</li> <li>・富総 PRESS 4 回発行</li> </ul>	◎	ブログの更新は目標を大きく達成できた。来年度もブログ他、かなよこ、広報よこはまを通じてタイムリーな情報発信を行う。

業務運営5 (事業計画書 様式3:市民 協働、市民主 体の活動の支 援、地域人材 育成)	・近隣教育機関や町内会、 ボランティアとの花壇花 植え、防災訓練、災害体 験の実施	・近隣保育園、金沢支援 学校と花植え 計4件 ・防災訓練および災害体 験 各1回 ・情報受伝達訓練および 参集訓練 各1回 ・津波避難訓練および自 治会防災訓練 各1回協 力	○	来年度も引き続き 事業計画書に基づ き、地域と連携し て取組を実施す る。
業務運営6 (様式3:地 域課題を踏ま えた事業提案・地域活性 化への貢献)	・高齢者の健康増進等の取 組6件	・6件実施	○	来年度も引き続き 事業計画書に基づ き取組を実施す る。
業務運営7 (事業計画書 様式3:本市 の重要施策を 踏まえた取組・環境への 配慮)	・生物多様性関連イベント 9件実施	・8件実施	○	公園の資源を生か した事業は、いず れも好評であつ た。マンネリ化し ないように、内容 を見直しつつ、事業 計画書に基づき取 組を実施する。
業務運営8 (事業計画書 様式4:公園 の魅力を高め る施設保全・ 管理)	・公園の歴史的背景を伝え る歴史の紹介ページをHP に掲載 ・バリアフリーの配慮 ・セキュリティポストの設 置 ・海拔表示設置	・浜空神社跡地等の紹介 をHPに掲載済 ・バリアフリー対応とし てアーチェリー場内に スロープを設置 ・セキュリティポストお よび海拔表示を設置済	○	来年度も引き続き 事業計画書に基づ き取組を実施す る。
業務運営9 (事業計画書 様式4:施設 (建物等)、設 備の維持管 理、修繕計 画)	(1)当団体独自のチェック シートに基づく公園点検 の実施12回 (2)市公園点検マニュアル に基づく施設点検4回 (通常3回、詳細1回) (3)園内灯設備保守点検1回 (4)放送設備点検1回	(1)12回実施 (2)施設点検4回実施(5 月、8月(詳細)、11月、 2月) (3)1回実施 (4)1回実施 (5)2回実施 (6)1回実施	○	来年度も引き続き 事業計画書に基づ き取組を実施す る。

	(5) 消防設備点検 2 回 (6) 分電盤・トイレ・時計 点検 1 回 (7) 施設管理者点検マニ ュアルに基づく建物点検 1 回 (8) 空調簡易点検 4 回	(7) 1 回実施 (8) 4 回実施		
業務運営 10 （事業計画書 様式 4：樹 木、植栽等の 管理）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の間伐 1 回</li> <li>・サクラの樹木医診断 1 回</li> <li>・危険木調査 1 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険木調査 1 回実施</li> <li>・竹林の間伐 1 回実施</li> <li>・サクラの樹木医診断</li> </ul>	○	第 4 四半期にサクラの樹木医診断を実施した。診断結果を踏まえ、来年度も適切な管理を行っていく。
業務運営 11 （事業計画書 様式 4：巡 視・清掃）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡視・清掃 毎日（年末                          年始を除く）</li> <li>・警報等発表後の特別巡視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ 毎日 1 回実施</li> <li>・巡視・清掃 毎日実施</li> <li>・特別巡視 計 12 回</li> </ul>	○	来年度も引き続き年間計画に基づき実施予定。特別巡視の際は、土砂崩れ倒木等に万全の注意を払っていく。
収支 （事業計画書 様式 7：収入 確保、経費節 減策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業収入の確保                          1,590 千円</li> <li>・その他事務費の縮減 前                          年度予算から 100 千円減                          (553 千円以下)</li> <li>・その他保全費の縮減 前                          年度予算から 100 千円減                          (1,719 千円以下)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業収入 1,661 千円</li> <li>・その他事務費 前年度                          予算から 261 千円減                          (392 千円)</li> <li>・その他保全費 前年度                          予算から 963 千円減                          (856 千円)</li> </ul>	○	来年度も引き続き予算の管理を適切に行い、収入の確保と経費削減に努める。